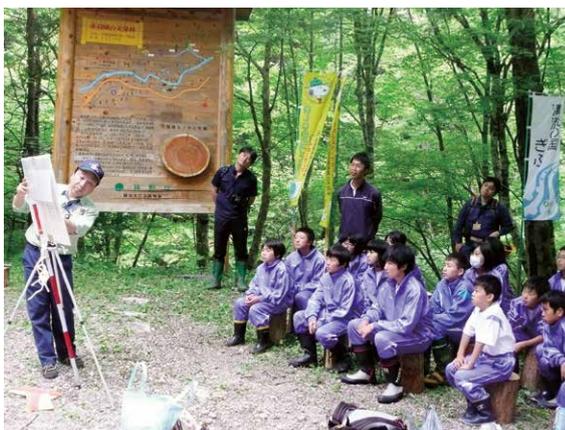


さをロープで輪を作り比べて見る工夫がされ、生徒たちは終始笑顔の中にも真剣なまなざしを注いでいました。



森林教室で説明を受ける生徒

その後生徒たちは三班に分かれて、案内標識の設置や、説明板の清掃を行いました。途中、滝や大ヒノキに出会い、歓声を上げていました。

作業終了後、小坂町森林組合の住組合長から「今年には伊勢神宮の式年遷宮の年、小坂の森を神宮に使われるような立派な木に育てましょう。」との締めくくりの挨拶がありました。

後日生徒から、当署に「森林の良さ、小坂の自然の良さを少しでも広め、木を使って、買って、値段を上げ、山の手入れをできるようにしたい」との感想が寄せられました。

今回のイベントは、地元のケーブルテ

レビで放送されたことなどから、小坂町内でも話題になり、「地域がまとまればできるものですね。」との声も聞かれました。
また、地域の九つの組織・団体が参加し、協働することの意義を深めるイベントにもなりました。



天保の大ヒノキの太さを体感する生徒

美女平で小学生による レク森の整備

【富山署】六月二十五日（火）に立山町美女平（ブナ坂国有林）において、地元立山小学校六年生二十五名により、美女平風致探勝林内の歩道整備等を実施しました。

これは、次代を担う若者たちが、レクリエーションの森における遊歩道整備などの作業を通じて、自分たちの故郷のす

ばらしさを再発見するとともに、森林の多面的な機能や自然環境の保護と利用について学ぶことを目的に行うものです。



チップ敷をがんばる生徒

実施した場所は、立山黒部アルペンルート（天空ロード）の標高約一千メートルのレク森内の遊歩道で、歩道の流れる表流水等により立山スギの根系部が洗掘されている箇所に、地元産の間伐材の端材をチップにしたものを生徒が運搬し、敷設しました。

チップ敷設後は、美女平風致探勝林内において、樹齢数百年以上と言われている立山スギやブナの森の観察会と、森林の諸機能についての森林教室を開催しました。

また、同レク森においては立山地区国有林野保護管理協議会（立山地区の山小屋、関連企業等で構成）もチップ敷設を実施しています。

新たに二校で森林教室を実施

【東濃署】六月二十八日、中津川市立付知南小学校三年生の森林教室及び七月二日には、付知中学校一年生の森林教室を開催しました。

付知南小学校三年生は今年度「付知町のじまん」というテーマで総合学習を行っている。その中で付知町地域はヒノキが有名であるということがわかったようので、今回隣接している当署へ付知町の森林・林業、ヒノキのことなどについて学習がしたいと依頼があり実施したものです。

三、四時限目を使い当署会議室において鈴木森林整備官（森林ふれあい担当）から森林の役割、付知町の森林・林業、ヒノキについて説明を行いました。生徒



歩道整備をがんばった生徒たち

からは、「ヒノキの種を初めて見た」近くの森にこんなに大きいヒノキがあるなんてすごい」など目を輝かせながら歓声をあげていました。



付知小学校の森林教室

付知中学校では、地域の協力のもとに育林作業や木工教室を開催しており、今回地域の森林や林業に、より興味を持たせたいとの要請があり実施したものです。

一学年の二クラスで一時限ずつに分け枝澤署長より日本と世界の森林の現状、地域と森林の様々な結びつきなどについて説明を行いました。

また、枝澤署長が以前勤務していたケニア共和国の森林事情や植林協力の様子などについて日本との違いを写真を用いてわかりやすく説明すると生徒たちは普段聞くことのできない海外の話に非常に



付知中学校の森林教室

興味を持った様子で聞いていました。

当署ではこれまでも付知町内にある二つの小学校の五年生を対象に森林教室を行っており、また、中学校生の職場見学・体験の受け入れをするなど地元小学生と交流がありました。新たな教室を実施したことにより今後、森林・林業・木材産業に一層関心を持ってもらえるのではないかと期待しています。

低コスト森林施業を実現するため 林業専用道技術者育成の研修を実施

「森林技術・支援センター」

平成二十五年度第一回目の林業専用道技術者研修が七月八日から十日までの三日間、下呂温泉旅館会館及び飛騨署管内の鈍引沢（どんびきざわ）国有林内の既

設林業専用道等において実施されました。中部地方の六県から県、市町村、森林組合、国有林の職員など二十名の方が受講しました。

森林・林業の再生に向けた低コスト森林施業の実現のためには、森林へのアクセス性、耐久性、経済性に優れた林業専用道の開設が急務となっています。また、これに森林作業道を効果的に配置することで、高性能林業機械により低コストで木材を搬出することが可能となり、地域振興にも大きく寄与することが期待されているところです。



中島下呂副市長の挨拶

このことから、林業専用道の開設等を担う技術者育成のため研修を実施しているところであり、今後、林業専用道規格の路線延長が進むことを期待していま

す。この研修は七月から十月の間に四回実施することとしています。



現地研修



「飛騨署町方森林事務所」

鈴木良和 森林官

町方森林事務所は岐阜県高山市の東に位置する丹生川町に所在しています。

丹生川町は東西三十二キロメートル、南北十二キロメートルにわたる農山村地域で、東西へと流れる神通川水系（小八賀川と荒城川）によって中央部から二分され、西部は高山盆地の一部を成し、東部は日本の屋根ともいえる北アルプスに続く山岳地帯となっています。

当事務所が管轄する国有林は、金山・折敷地・デンガク・乗鞍の四国有林、

約四千七百ヘクタールとなっており、丹生川町の森林の内、二十一パーセントを占めています。

赴任した四月にはまだ林道が雪で覆われていましたが、現在は山も雪解けし、山見のしやすい気候となりました。

請負事業も動き始め、今年には第五次計画の予備編成の年であることから、現在は次期計画に向けた林況の確認が急務となっておりますが、現場職員の協力を得ながら計画的に進めていく予定です。

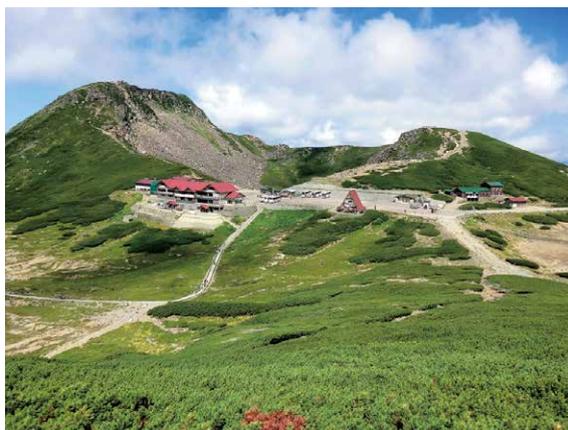


打合せの様子（中央が森林官）

当森林事務所のシンボルともなっている乗鞍国有林では、五月十五日に「乗鞍岳の山開き祭」が行われました。

乗鞍岳は中部山岳国立公園の最南端に位置しており、一万年から七千年前の火山活動により形成された二十三もの峰々が緩やかな曲線を描き、その頂上では標

高三千二百六メートルの剣ヶ峰が雄大な姿を醸えています。



乗鞍岳

高山市から遠望すると、稜線が馬の背に似ていることから乗鞍の名がついたと言われ、その背に沿って岐阜県側を平湯峠から畳平（標高二千七百七メートル）まで乗鞍スカイラインが通じています。現在はマイカー規制がされており、一般車での通行は制限されていますが、乗鞍岳は飛騨地域における重要な観光資源の一つであり、一シーズンの観光客数は推計約二十万人に達しています。

標高二千五百メートルを超える高山地帯はハイマツやコマクサ、ハクサンイチゲをはじめとした高山性植物の宝庫であり、特別天然記念物のライチョウやオコジョが生息するなど、貴重な自然が広がっています。そうした貴重な動植物の

保護や観光客の安全は、県や市職員などの関係機関や、当署のグリーンサポートスタッフ「GSS」（臨時雇用による森林パトロール員）の連携による自然保護活動等により保たれています。

また、今年には「乗鞍スカイライン開通四十周年記念」の年でもあり、様々なイベントが計画されるなど、観光客の増加が予想されることから、より安全に配慮した巡視、自然保護活動を行いたいと思います。

当森林事務所管内では、乗鞍岳、五色ヶ原などの貴重な地元の観光資源となっている森林から、森林整備などにより森林の公益的機能を発揮させる森林まで、多岐にわたる森林の管理に努めなければなりません。それぞれの森林機能を十分に発揮できるように、地道ながらも一生懸命頑張っていきたいと思えます。



GSSと乗鞍で（右が森林官）

人のうごき

中部森林管理局人事

六月三十日付

▽退職（東濃森林管理署署付）

早川 由香

林野庁人事（抄）

七月二日付

▽中部森林管理局総務企画部長

高信 好彦

▽林野庁国有林野部管理課管理官

（人事管理担当）

木村 大助

行事・会議等の予定

◎夏休み子供ふれあいデー

7月31日 中部局

◎森林モニター現地視察

8月1日 飛騨署管内

◎関東中部地区治山林道研究発表会

8月28日 岐阜市





◆天下第一の桜 【高遠城址公園】

明治四年（一八七二年）、廢藩置県となり翌五年、高遠城は取り壊されました。その後城址は公園となりましたが、管理する者もなく荒れるままになっていました。見かねた旧藩士たちが、明治八年に、馬場の桜を城跡に移植したのが、現在の桜の名所「高遠城址公園」の始まりです。

かつて馬の姿が沢山の桜の花に隠れたという高遠藩の桜の馬場。その在りし日の姿を再現するかのように、約千五百本以上の桜が見られ、古くから「天下第一の桜」と称されて全国的に有名で、「さくら名所百選」にも選ばれています。



高遠桜

高遠の桜は、タカトオコヒガンザクラ

で、ソメイヨシノより小ぶりでも赤みのあつ花を咲かせ、開花時には公園一帯が淡いピンクに染まり「天下第一の桜」にふさわしい光景です。また、夜のライトアップされた桜の幻想的な美しさも忘れ難いものになります。

伊那市内には「高遠城址公園」のほか「三峰川桜堤防」、「春日公園」、「花の丘公園」、「勝間のしだれ桜」など桜の名所があります。



高遠夜桜

◆信州そば発祥の地 【伊那市】

奈良時代の初め、修験道の開祖「役小角」は荒行の聖地である駒ヶ岳を目指しました。途中、伊那の内の萱で村人たちに温かくもてなされた役小角は、お礼として厳しい気候条件でも栽培でき、栄養価の高い「そばの実」を村人たちに贈りました。村人たちは、このそばを大切に育て、やがて信州全体に広がり、以来、内の萱は信州そば発祥の地といわれ、今でも毎年十月には「行者そば祭り」が大に開催されます。行者そばは、地粉で打った手打ちそばを、大根おろしの汁に焼き味噌を溶き入れた「辛つゆ」で食べるものをいいます。

役小角の時代から九百年の時を経た江戸時代の初め、高遠藩主の保科正之は辛味大根と焼き味噌で食べる蕎麦切りを高遠藩のおもてなし料理とし、將軍にも献上していました。殿様も庶民も愛でた「高遠そば」は、後に会津藩の「藩祖」となった保科正之によって、福島県各地に「高遠蕎麦」として伝えられ、日本の名蕎麦に数えられています。

高遠城址で十一月に開催される秋祭りでは、復活した辛味大根とともに新そばが味わえます。また、市内に点在するそば処では、いつでも地粉で打ったそばを味わうことができます。



高遠そば

◆癒しのパワースポット【ゼロ磁場 分杭峠（ぶんぐいとうげ）】

日本最大の断層「中央構造線」が縦貫する分杭峠は、ゼロ磁場としても近年有名となり多くの観光客が訪れています。ゼロ磁場とは、中国の気功師、張志祥氏により発見された場所で、「人が幸せになれる場所」ともいわれ、心身の癒しを求め訪れる方が多く、ガン、腰痛、膝痛、肩こり、頭痛や生活習慣病などの治癒効果（個人の意見として）があると評判となっています。



分杭峠

所在地

（高遠城址公園）長野県伊那市高遠町（分杭峠）長野県伊那市長谷アクセス

（高遠城址公園）

【公共交通機関】

JR 飯田線伊那市駅下車、バス高遠

駅 約二五分、徒歩約一五分

【自家用車】

中央自動車道伊那ICより約三十分

（分杭峠）

【公共交通機関】

JR 飯田線伊那市駅下車、バス高遠

駅 約二五分、シャトルバス約十五

分

【自家用車】

中央自動車道伊那ICより

約四十分、シャトルバス約十五分

写真提供：伊那市観光協会